

サポーター研修資料

1. はじめに「ボランティアとは」

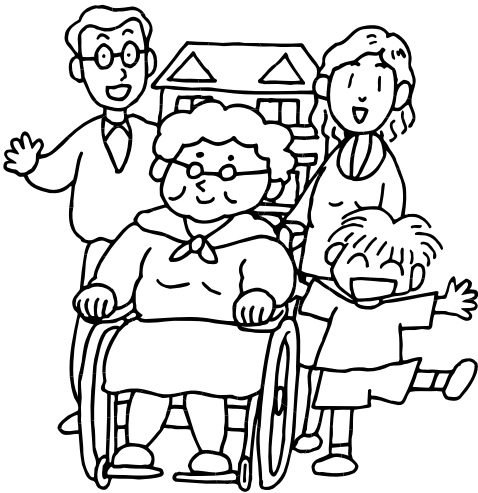
ボランティア活動は誰もができる活動です

ボランティアとは、誰もが人間らしく豊かに暮らせる社会を目指し、身近な所でできることを自ら進んで活動することです。

それは、障害のあるなしにかかわらず誰もができる活動であり、子どもから高齢者まで世代も問いません。

また、その活動も個人に対するものから社会に対するものまで様々です。

つまり、ボランティア活動は、特定の人が行う特別な活動ではなく、誰もができる活動なのです。



ボランティア活動で得られるもの

ボランティア活動では、活動をして報酬を得ることはありませんが、活動を通じてさまざまなものを自分自身に得ることができます。それは、出会いや学び、そして感謝や感動などです。

また、ボランティア活動を通じた社会参加によって自分自身をさらに成長させる場でもあります。

出会った多くの人たちの生き方や考え方にふれて、自分のことをふりかえる機会にもなり、年齢や職業、地域をこえた人のつながりが生まれるといった多くの魅力をもっています。

2. ボランティア活動の意義と4原則

ボランティア活動の意義

いろいろな人との出会い

ボランティア活動には、学校や勤務先の仲間など、普段接する仲間以外の様々な人との出会いや関わりがあります。

新しい自分の発見

今までは苦手意識を持っていた事がボランティア活動を通じて、得意な事だと気づくなど新しい発見があります。



一人一人に合った活動を

公平性が求められる行政サービスでは、市民一人一人の要望に応じていく事ができません。しかし、ボランティア活動では、その人のために行うオーダーメイドの活動が可能です

より大きな活動に

ボランティア活動は、特定の人に行われますが、活動の対象となる問題はその人だけが抱えているだけではなく、多くの人が共通して抱える問題であることが少なくありません。

ボランティア活動の4原則

① 自主性

言われて行う活動ではなく、自らすすんで行う活動。「やってみよう」という自分の心から生まれる気持ちが大事。

② 無償性

活動に対しての対価を求めるものではない。新しい出会いや発見、感動など人との交流の中で見つけられるもの。

③ 社会性

みんなで協力し助け合いながら、地域や社会の問題解決に向けて取り組む。

④ 先駆性・創造性

新しく出てきた社会の問題について、先駆的に柔軟に取り組む活動。

3. 活動をする際の心構え

知識や経験を活かす

これまであなたが培ってきた知識や経験は大きな財産です。それを介護施設等で活用する為に、自分ができること、得意な事から活動を始めてください。楽しい時間を過ごすためにも、無理せず自分にできることや得意なことを活かすことを考えます。

謙虚であることを心がける

ボランティア活動は、積極性を要求されますが、謙虚さも必要とされます。「してあげる」という気持ちではなく、あくまで協力者として対応することにより、信頼関係が生まれます。活動中にわからないことがあれば何でも聞いて疑問を解決していくことが大切です。

周囲と協力する

介護施設等には、多くのボランティアが活動しています。自分1人の力には限界がありますが、ボランティア同士が協力し合うことにより、より良い活動につながる 경우가多くあります。また、協力することにより、喜びを共有することができ、活動の輪が広がります。いろいろな方と協力し合って活動してください。

緊急の場合は連絡する

時間などの約束は、必ずお守りください。しかし、活動予定日に体調不良や緊急でお休みしなければならなくなった場合には、必ず施設に連絡を入れるようにしてください。

活動上の責任を果たす

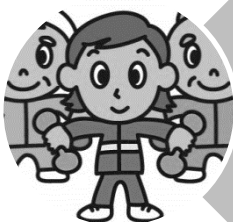
活動は、自己責任が原則となりますが、活動中に不幸にも事故が起こってしまった場合、自分だけでなく、活動先の相手にも迷惑が及ぶこととなります。良かれと思ってやったことが、かえって迷惑をかけてしまう。活動していて、こんなに悲しいことはありません。活動上のリスクを少しでも軽減させるため、ボランティア活動をする皆さんに対して「ボランティア活動保険」への加入をお勧めしています。

4. 活動当日の留意点を守ってください



①体調に注意してください

咳や熱、インフルエンザなどの感染症にかかっている場合、他人に感染させてしまう恐れもあります。体調の悪い時はまず、体調の回復に専念し、活動は慎みましょう。休むときには、活動先へ必ず連絡してください。



②活動中の服装をチェックしてください

活動される内容、気候、季節などを照らし合わせ、適した服装で活動されることが事故防止の近道です。

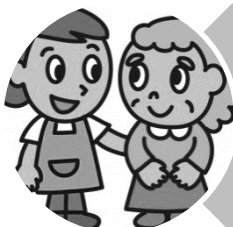
○帽子→熱中症予防

○履きなれた運動靴→動きやすく、転倒防止



③笑顔で挨拶をしてください

元気で明るい挨拶は、利用者の方や施設の職員、他のサポーターとの距離が縮まりますし、気持ちよく活動できます。



④相手の立場を尊重してください

「こうしたほうがよい」という考えによる行為が、必ずしも施設や相手に歓迎されているとは限りません。

生活のリズムやペースも人それぞれですので、利用者の立場を考え、自分の行動をコントロールすることも必要です。



⑤ルールや決まりごとは必ず守ってください

施設では利用者や職員の安全の保持やサービスを適正に進めるためのルールや方針が決められています。

施設の職員の注意やお願いには必ず従うようにしましょう。



⑥プライバシーを守ってください

サポーター活動をしていると、利用者や施設の職員の氏名・住所・心身や家族の情報を知られる場合があります。

これらの、個人情報を第三者に話すことにより、その人に不利益を生じさせてしまうことがありますので、特に注意が必要です。